

四六七番

時はしも 何時もあらむを 心痛く 行く我
妹か 若子を置きて

四六八番

出でて行く 道知らませば あらかじめ 妹を留
めむ 関も置かましを

四六九番

妹が見し やどに花咲き 時は経ぬ 我が泣く涙
いまだ干なくに